

1. 次の文を、タイプしなさい。(1,225 文字・20 分) ファイル名 IIA 日付-学籍番号-課題 1.docx

就職活動が本格化したのが、早くも疲弊する学生が増えてきた。

インターンシップの増加や就活時期の二極化で就活期間が長期化。

これが学生を追い詰める原因の一つになっている。

5月に入ってリクルートスーツに身を包む大学生を多く見かけるようになった。いよいよ就職活動が本格化してきた。

そんな中、「就活で挫折を感じています。今後もうまくいくのかどうか、不安でしかたがない」(学習院大生)。「希望の企業の最終面接で落ちてしまった。そのショックで就活が手につきません」(中央大生)など、早くも「就活疲れ」を起こしている学生が目立っている。

今シーズンの就活は2015年3月に解禁。8月の選考開始時期へ向けて、今はまだ序盤戦であるはずなのにもかかわらずだ。

彼ら、彼女らが既に1年近くも就活を続けていることが大きな原因だ。今シーズンの就活が事実上始まったのは、2014年夏のインターンシップである。

今シーズンはインターンシップといっても、昨シーズンまでのような単なる就業体験ではない。優秀な学生をできるだけ早く確保したい企業側が、事実上の選考の場として位置づけていたケースが多い。選考会さながらの緊張感に包まれていたという。

さらに、インターンシップは学生の冬休みに当たる2015年1~2月にも、第2の山場を迎えた。その後、3月の就活解禁を経て、5月の現在へと至っている。

今後の就活スケジュールを見通すと、まだまだ長期化する見込みだ。経団連の「採用選考に関する指針」で、選考開始時期が4カ月後ろ倒しされた影響が大きい。昨シーズンまでは4年生の4月だったが、今シーズンから8月になった。だが、大半の企業がこの指針を守らず、5~7月にかけて、選考を始める企業が目立っている。

一方で、経団連の指針通りに8月から選考を始める企業も存在する。

「8月から選考する」(三菱商事)、「指針に従う」(野村証券)、「指針は守る」(三菱東京UFJ銀行)など、いずれも学生からの人気が高い企業である。学生が既に別の企業から事実上の内定を得ていたとしても、結局は自分たちを選ぶはず、という自信がある。

昨夏と年初のインターンシップに続き、実際の選考時期が5~7月と8月の二極に分かれることによって、2014年8月から2015年8月まで、13カ月の間、断続的に就活が続くことになる。昨シーズンの就活期間は5カ月(2013年12月~2014年4月)だった。実に、2.6倍の長さという異常事態だ。

特に、「理系なので夏ごろが卒論や修論のテーマを決めて、書き始める時期。就活との兼ね合いが難しい」(中央大生)と危惧する声もある。

そもそも、経団連は「学生が学業に専念できる時間を確保する」ために就活の時期を後ろ倒しにした。それにもかかわらず、むしろ就活は長期化して、学生が学業に専念できる時間が大幅に減っている。

企業の採用意欲が強いことは、本来喜ぶべきではあるが、今シーズンのような混乱が続けば、企業と学生の双方が疲弊するだけだ。来年へ向けて、解決すべき課題は山積している。

.*

2. ビジネス文書を作成しなさい。ただし、A4 サイズ 30 文字 30 行で設定すること。(10 分)

ファイル名 IIA 日付・学籍番号・課題 2.docx

日付 平成 27 年 7 月 1 日

宛先 豊後スーパー株式会社 営業課 佐伯 弥生

送主 株式会社豊後大野食品 販売部 清川 雫

タイトル 意見交換会のご案内

本文

このたび弊社では、下記の要領にて、意見交換会を開催させていただくこととなりました。

つきましては、ご多用中まことに恐縮ではございますが、ご来場いただきたくお願い申し上げます。当日は、皆様方との親睦会等も予定しております。

何卒、ご参加賜りますようお願い申し上げます。

日時 8 月 3 日 (月) 14 時より

場所 佐賀関観光ホテル 2 階「葵の間」

3. 新規文書に次の文を入力しなさい。ファイル名 IIA 日付・学籍番号・課題 3.docx

病床削減で国が見せた本気度 ※ワードアートを使いなさい

政府は 6 月 15 日、2025 年時点の病院ベッド（病床）数を今より最大で 20 万床減らす目標を示した。

独り歩きしがちな数字をあえて掲げたのは、それだけ病床削減に本気だからにほかならない。

今後 10 年間でこれまでの医療事情が大きく変わる可能性も出てきた。

なぜ内閣府なのか——（蛍光ペンと太字で強調しなさい）。そう疑問に感じた人も少なくないだろう。6 月 15 日に政府が示した将来の病床推計。発表の場は、この種の推計でお決まりの厚生労働省ではなく内閣府だった。今回の病床推計をまとめたのは、内閣官房の専門調査会。過去の通例からは、極めて異例な対応と言える。このあたりに、フリー素材の病院のイラストを文章回り込みで挿入しなさい。

調査会は、2025 年の人口推計や延べ 3 億人を超す患者の診療報酬明細書（レセプト）のデータから、将来の病床数の見通しを割り出した。2025 年時点の必要数は 115 万～119 万床と推計。このため、2013 年の 134 万 7000 床から 1 割以上減らせると指摘した。

数を減らすだけではない。現在は、手術や救急など集中的な治療に対応する病床が大半だが、今後はリハビリや在宅復帰に向けた支援を行う病床への転換を促す。長期療養患者向けの慢性期病床も減らす。入院先を減らす一方で、あふれることになる 30 万～34 万人の患者は自宅や介護施設での治療に切り替える。

日本医師会は猛反発するが ※見出し 2 を使いなさい

都道府県別では埼玉、千葉、東京、神奈川、大阪、沖縄の 6 都府県で病床が不足するものの、残る 41 道府県ではすべて余ると予測した。西日本を中心に 30%前後の削減を迫られる県も多い。

この推計が明らかになると、日本医師会（日医）は 6 月 17 日の記者会見で政府方針を痛烈に批判。横倉義武会長は「必要な病床数は地域の事情によって様々で全国集計には意味がなく、納得できない」「一律に削減されるような印象を与えかねない推計は地域医療の現場を混乱させるもので非常に遺憾」などと、不快感をあらわにした。網掛け部分を境界線有りの 2 段組みにしなさい。

また、中川俊男副会長も「推計に医療関係者がほとんど参画していないのに、医療・介護提供体制の改革そのものにまで踏み込んでおり越権行為だ」などと強く反発するコメントを発表した。

もっとも、いつもは強硬な姿勢を崩さない日医にしては珍しく、この件についての批判はその後、沈静化しつつある。そこに、医療改革をめぐって今回生まれた新たな力関係を見て取ることができる。

病床推計に至るまでの経緯は、これまでの医療政策の中でも異彩を放っている。

国による病床削減の動きは今に始まったことではない。病床が多すぎると不必要な入院や長期療養が増えて医療費がかさみやすい。古くは1985年の医療法改正（第1次医療法改正）で、地域ごとに病床数の上限を定めた「病床規制」の仕組みが導入された。以来、病床削減へ向けた動きが続いてきた。

その旗振り役は厚労省だった。これまでに何度か具体的な病床数の削減目標を示したこともある。ところがそうした数値目標を掲げての改革プランは、日医をはじめとする医療関係団体の強い反発に遭い、ことごとく頓挫した。医療界の利益と厚生行政は対立することが常なのだ。

だが、その状況に大きな転機が訪れた。第2次安倍政権が誕生して以降、政府は過去の失敗を繰り返さないことを意識してか、官邸主導で社会保障制度改革を進めることにした。

2014年1月に安倍晋三首相を本部長とする社会保障制度改革推進本部を設置すると、同年8月にはその下に専門調査会を設けて、病床数や医療費適正化の目標を立てさせることにした。それが病床数を推計した調査会に当たる。

実は、今回の病床削減推計は、調査会と厚労省の合作と呼ぶべきもの。というのも、推計は厚労省の検討会がまとめた計算式を基に算出しているのだ。

だが、結果は調査会が公表した。厚労省の幹部は、「それは、もちろんこちらへ火の粉が降りかからないようにするため」と打ち明ける。実際、厚労省へ日医の怒りの矛先が向かうことはなかった。

他方、日医にとって、**盤石（ルビを振りなさい）**な政権基盤を誇る今の官邸は非常に恐るべき相手。年末には政府裁断で2016年度診療報酬の改定率が決定するため、「今はいたずらに官邸を刺激しない」（日医幹部）という戦略を取る。だからこそ、今回の推計への批判も、深入りを避けたと言える。

表を作成し、本文中に貼りこみなさい。

表1 2013年時点の病床数と2025年推計値での増減数・増減率 注 ▲はマイナス

都道府県	2013年の病床数（床）	2025年の病床数（床）	増減率（%）
福岡	74,000	▲8,500	▲11.5
佐賀	13,500	▲4,400	▲32.6
長崎	23,300	▲6,500	▲27.9
熊本	31,800	▲10,600	▲33.3
大分	18,900	▲4,200	▲22.2
宮崎	16,500	▲5,400	▲32.7
鹿児島	30,600	▲10,700	▲35.0

4. 新規文書に次の文を入力しなさい。ファイル名 IIA 日付・学籍番号・課題 4.xlsx

2015 年 5 月新車販売台数 自販連、全軽自協より

<http://www.zenkeijikyo.or.jp/statistics/>

www.jada.or.jp/

順位	車名	メーカー	台数	前年比	乗/軽	上位20位
	CX-3	マツダ	3,286			
	CX-5	マツダ	1,705	77.6		
	eK	三菱	2500	145.4	軽	
	N-BOX	ホンダ	10397	101.8	軽	
	N-ONE	ホンダ	1313	98	軽	
	N-WGN	ホンダ	5120	121.8	軽	
	アクア	トヨタ	14,428	118.9		
	アルト	スズキ	7998	108.8	軽	
	アルファード	トヨタ	3,344	226.9		
	インプレッサ	スバル	2,638	77.6		
	ヴィッツ	トヨタ	4,792	72.8		
	ウエイク	ダイハツ	3250	109.4	軽	
	ヴェゼル	ホンダ	4,846	61.3		
	ヴェルファイア	トヨタ	4,322	184.5		
	ヴォクシー	トヨタ	4,463	47.8		
	エクストレイル	日産	4,248	150.1		
	エスクァイア	トヨタ	7,109			
	エブリイワゴン	スズキ	2151	120.6	軽	
	カロラ	トヨタ	8,920	108.6		
	クラウン	トヨタ	2,756	96.3		
	グレイス	ホンダ	1,655			
	シャトル	ホンダ	2,938			
	スイフト	スズキ	2,112	76.3		
	ステップワゴン	ホンダ	5,087	171.3		
	スペイド	トヨタ	1,634	64.8		
	スパーシア	スズキ	8043	133.2	軽	
	セレナ	日産	4,175	90.5		
	ソリオ	スズキ	2,006	75.7		
	タント	ダイハツ	8689	108	軽	
	デイズ	日産	9452	127.2	軽	
	デミオ	マツダ	5,575	278.6		
	ノア	トヨタ	2,356	45.2		
	ノート	日産	6,677	101.7		
	ハスラー	スズキ	7834	78.2	軽	
	パッソ	トヨタ	2,959	76.8		
	ハリアー	トヨタ	3,533	88.2		
	フィット	ホンダ	7,680	59.1		
	フリード	ホンダ	2,421	61.9		
	プリウス	トヨタ	8,778	89.7		
	ミラ	ダイハツ	6365	102.2	軽	
	ムーヴ	ダイハツ	7889	95.8	軽	
	モコ	日産	1246	104.4	軽	
	レヴォーグ	スバル	1,642	257.4		
	ロードスター	マツダ	2,157	5,530.80		
	ワゴンR	スズキ	7965	106.8	軽	
		合計				
		メーカー名	車種数	販売台数		
		トヨタ				
		日産				
		ホンダ				
		スバル				
		マツダ				
		スズキ				
		ダイハツ				
		三菱				
		合計				

1. 1位から45位までランキングをつけなさい。(手作業禁止)
2. 各メーカー順、販売台数順に並べ替えなさい。
3. 台数を縦棒グラフ、前年比を折れ線グラフで表示しなさい。
4. 軽自動車は何車種あるか数えなさい。(関数を使うこと)

5. 5月の45車種の台数の合計を求めなさい。(関数を使うこと)
6. 各メーカーが何車種ランクインしているか数えなさい。(関数を使うこと)
7. 各メーカーの販売台数の合計を求めなさい。(関数を使うこと)
8. 上位20位ならば、○、そうでなければ×を表示させなさい。(関数を使うこと)
9. メーカーの販売台数のシェアグラフを作成しなさい。